

会社名：ヤシマ 八洲電機株式会社
 代表者名：代表取締役社長兼 グループ C O O 清宮 茂樹
 (コード：3153 東証プライム市場)
 問合せ先：経営統括本部 ブランド戦略ユニット ユニッタリーダー 菱山 賢
 (TEL：03-3507-3349)

2027年3月期通期 連結業績予想の修正 及び 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年5月15日に公表しました2027年3月期通期の連結業績予想及び配当予想の修正について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 連結業績予想の修正について

(1) 2027年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,000	7,900	8,000	5,450	254.57
今回修正予想 (B)	82,000	8,900	9,000	6,100	288.60
増減額 (B-A)	+ 4,000	+ 1,000	+ 1,000	+ 650	—
増減率 (%)	+ 5.1	+ 12.7	+ 12.5	+ 11.9	—
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期通期)	74,569	7,289	7,437	5,145	241.62
前期実績比 (%)	+ 10.0	+ 22.1	+ 21.0	+ 18.5	—

(2) 修正の理由

当連結会計年度においては、公共・設備事業を中心に組織改革を推進したことで、設備投資需要の取り込みが進み、2026年5月15日に公表した連結業績予想に対し、業績が伸長する見通しとなりました。

公共分野においては、空港関連事業などにおける受変電設備改修工事が進展したほか、非常用電源設備の更新などが好調に推移する見込みとなりました。また、空調設備分野においては、拡大するデータセンター需要を背景としたサーバー冷却用特殊空調機器納入に加え、成長が期待された空調・給排水衛生設備工事業へ経営資源を集中したことにより、空調衛生工事、バイオ関連施設の特殊空調設備工事、工場の生産設備増強工事などが進展しました。

その結果、売上高は820億円（前年比10.0%増）、営業利益は89億円（前年比22.1%増）、経常利益は90億円（前年比21.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は61億円（前年比18.5%増）の増収増益となる見込みであり、業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 2027年3月期通期配当予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2026年5月15日発表)	—	56.00 (普通配当 50.00) (創立80周年 記念配当 6.00)	56.00 (普通配当 50.00) (創立80周年 記念配当 6.00)
今回修正予想	—	66.00 (普通配当 60.00) (創立80周年 記念配当 6.00)	66.00 (普通配当 60.00) (創立80周年 記念配当 6.00)
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2026年3月期)	0.00	45.00	45.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、安定的な配当の継続維持を基本方針としております。

2027年3月期の期末配当については、業績及び財務状態を総合的に検討した結果、2026年5月15日に公表しておりました配当予想の普通配当50円を、10円増額し60円といたします。

また、創立80周年の記念配当として6円を加え、配当予想は66円となります。

なお、当社は定款の定めに基づき、剰余金の配当については取締役会の決議により決定されますので、2027年5月開催予定の取締役会にて決定する予定です。

※ 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上